

【徳島県海陽町】

校務 DX 計画

1. 基本方針

海陽町においては、第3期教育振興計画において、ICTを活用した教育を重点施策として掲げ、取り組みを行っている。本町においては、光ファイバー網を活用した高速インターネット環境を活用し、以前からICT機器を活用し、校務の効率化に取り組んできた。

教職員の働き方改革を行う上で、ICT機器を活用した効率化は必須と考え、校務のDXに取り組めます。

2. 施策

・校務支援システムを活用した校務のデジタル化

校務支援システムを活用し、FAXでのやり取りの原則廃止や押印省略に取り組めます。

また、教職員の人事異動に伴う負担軽減のため、県と共同して次世代の校務支援システム導入を検討します。

・高速インターネットとクラウド環境を活用した校務のデジタル化

海陽町においては、光ファイバー網を用いた高速インターネット環境を整備しており、校務のデジタル化にも大きな役割を果たしている。GIGA第1期以前より、校内にWi-Fi環境を整備し、保護者との連絡アプリの活用やオンライン会議システムを活用して、校務の効率化に取り組んできた。今後は、クラウド環境を活用し、職員室と教室の情報連携を行う実証事業を行い、校務の効率化に取り組めます。

・ICTを活用した部活動指導

部活動の地域移行にあたり、過疎地においては専門の指導者確保が難しいといった課題がある。その解決策として、ICTを活用したオンライン指導の検証を行い、部活動地域移行に向けた課題解決に取り組めます。